

先進企業事例 1 共同精版印刷株式会社

職場風土改革への取り組み

～女性社員の活躍に向けた意識改革と働き方の見直し～

総務部長 東 静司さん



ワーク・ライフ・バランス導入のきっかけ

中国を中心に事業を海外展開していく中で、現地の女性社員の活躍を見た社長（現会長）は、今後日本でも女性社員の活躍が必要だと感じ、平成4年から女性を営業職に配置するようになりました。その結果、男性営業職ばかりでは気がつかない視点も加わり、営業成績が向上するようになったため、会社として女性社員に長く働いてもらいたいという考え方が強くなり、本格的にワーク・ライフ・バランスを推進することになりました。

トップダウンの改革と管理職への教育

女性社員の活用・休暇の拡充等はすべて社長のトップダウンで実行しました。社長の強いメッセージがあり、推進の際に大きな障害を感じることはありませんでしたが、短時間勤務で復職した女性社員を営業職に配置したとき、担当部長から「16時で帰られるのは困る」という意見が出たことがありました。その時、社長は「これからは働く女性が増えるのだから、そうしたメンバーを上手くマネジメントするのが部長の仕事」と返答し、管理職への教育に力を入れることを決めました。具体的には毎月の管理職会議の時に、職場づくりのガイドブックを読みあわせをする時間を取り、時間制約のある人を特別視しない雰囲気づくりや課題への対応策等を学び合いました。管理職は職場の体制を整える上でキーパーソンです。ワーク・ライフ・バランス推進の上で、キーパーソンとなる管理職への教育は重要なポイントだと実感しています。

具体的取組 1 「職場風土改革推進事業 検討委員会」の設置と社員への周知

営業から1名、現場から1名、管理職から1名の計3名で検討委員会を設置し、次の取組を始めました。

- 本社総務部に相談窓口を設置：社員が育児や介護について疑問に思っていることや悩んでいることを相談できます。
- 育休取得に関するQ&Aの冊子を作成し社員に配布：意外と知らない制度や利用方法等を知っていただくため、25問の質問に答えながら理解を深めました。
- 社内報・社外報の活用：出産後も継続して働いている社内ロールモデルを紹介することで、他の社員にも、継続して働くことができることを周知しています。

また、ポスターや冊子で紹介するだけでなく、朝礼等の機会があるたびに、会社の方針や取組を紹介しながら風土を醸成しています。このように社内に発信することで、社員は会社の本気の姿勢を感じています。

具体的取組 2 様々なパターンの短時間勤務制度、働き方の見直し

柔軟に対応できるのは中小企業だからこそ。育児中の社員の短時間勤務制度は、9時～16時、9時30分～16時30分、10時～17時等の勤務時間のパターンがあり、利用者のニーズに柔軟に対応しています。短時間勤務の女性は労働に対するモチベーションが上がり、6時間で8時間分の働きをしているように感じています。限られた時間の中で集中して効率よく働いてくれるので会社としては負担感よりメリットを感じています。またこのような制度や利用状況が、会社のイメージアップにつながり、営業活動や採用活動にも良い影響を与えていると感じています。

働き方の見直しについては、現場ごとにどうしたらノー残業にできるかを考え、進めています。自分たちで決めることが大事。18時になったら電気を消す、10日～20日の間に早帰り日を設定する等、現場で工夫しながら進めています。

また、時には外部の力を借りることも有効です。利用できる支援や他社の事例の情報は大きな力になります。取組にあたり、参考になりそうな他社の事例を集め、社内で閲覧しながら学び、自分たちに取り入れられるものを考えながら進めています。他社の成功事例や県・商工会議所のセミナー、冊子等で得た情報を紹介しながら、現場が今の働き方を見直し、よりよい改善策を考える場を創っていくことが私の役目だと感じ、日々情報収集に努めています。

企業データ

業種	印刷業	平成14年度	均等推進企業表彰（奈良労働局長賞）
設立	昭和17年	平成20年度	奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業表彰
所在地	奈良市三条大路2丁目2-6	平成23年度	奈良市ならの子育てほっと企業表彰
従業員数	96名		
URL	http://www.kspkk.co.jp/index.html		